

国際医療福祉大学
5キャンパス 11学部 27学科



大田原 キャンパス

〒324-8501 栃木県大田原市北金丸 2600-1

入試事務室
TEL:0287-24-3200 FAX:0287-24-3199

URL <https://otawara.iuhw.ac.jp/>

E-mail nyushi@iuhw.ac.jp

26万㎡(東京ドーム約5.5個分)の広大な敷地に、学修・研究のための15棟の校舎とさまざまな設備を整備しています。キャンパス内に6つの医療福祉施設を併設しているのが、大田原キャンパスの大きな特長です。高齢者や障害を持つ方々と日常的に触れ合える教育・医療・福祉が一体となった理想的な教育環境のもと、医療福祉従事者にふさわしい人間性が形成されます。

保健医療学部

- ▶看護学科
- ▶言語聴覚学科
- ▶理学療法学科
- ▶視機能療法学科
- ▶作業療法学科
- ▶放射線・情報科学科
- ▶医学検査学科 2025年4月開設

医療福祉学部

- ▶医療福祉・マネジメント学科

薬学部

- ▶薬学科(6年制)

成田キャンパス

千葉県成田市公津の杜4-3
TEL. 0476-20-7810

医学部

- ▶医学科

成田看護学部

- ▶看護学科

成田薬学部

- ▶薬学科(6年制)

成田保健医療学部

- ▶理学療法学科
- ▶作業療法学科
- ▶言語聴覚学科
- ▶医学検査学科
- ▶放射線・情報科学科

東京赤坂キャンパス

東京都港区赤坂4-1-26
TEL. 03-5574-3903

赤坂心理・医療福祉マネジメント学部

- ▶心理学科
- ▶医療マネジメント学科

小田原キャンパス

神奈川県小田原市城山1-2-25(本校舎)
TEL. 0465-21-0361

小田原保健医療学部

- ▶看護学科
- ▶理学療法学科
- ▶作業療法学科

大川キャンパス

福岡県大川市榎津137-1
TEL. 0944-89-2100

福岡保健医療学部

- ▶看護学科
- ▶理学療法学科
- ▶作業療法学科
- ▶言語聴覚学科*
- ▶医学検査学科

福岡薬学部

- ▶薬学科(6年制)

※2023年度から募集停止

Certified Orthoptist

「みる・みえる」をささえるスペシャリスト
— 視能訓練士 —



医療福祉の多彩なエキスパートを育てる。

国際医療福祉大学

<https://www.iuhw.ac.jp/>



※国際医療福祉大学については「国際医療福祉大学GUIDEBOOK2025」を、大田原キャンパスについては「大田原キャンパスGUIDEBOOK2025」をご覧ください。



医療福祉の多彩なエキスパートを育てる。

国際医療福祉大学

視機能療法学科

未来の社会で活躍する 自分を想像してみよう

社会で活躍する姿を想像してみてください。

大学での4年間で専門的な知識と経験を積み重ね、きっと、一人ひとりの

「みる・みえる」をサポートするプロフェッショナルとして社会に羽ばたいているでしょう。

「誰かの役に立ちたい」その思いがあなたの夢を後押ししてくれます。

国際医療福祉大学は、夢の実現をめざすあなたを待っています。

視能訓練士 Certified Orthoptist -CO- は、 大切な眼の健康を守るスペシャリストです

みなさんは視能訓練士という仕事を知っていますか？

「視力検査をする人」を思い浮かべてもらうとイメージしやすいかもしれません。

しかし、その他にも視能訓練士は「視覚」に関することなら

脳波や超音波、画像解析装置などを使った「検査」から、

「みる・みえる」をサポートする「視覚リハビリテーション」まで行う

眼科医療のプロフェッショナルです。

人生100年時代と言われ平均寿命が伸びている今、

子どもから高齢者まですべての人のQuality of Visionを保つために、

視能訓練士の活躍するフィールドはさらに広がっています。

国際医療福祉大学の4年間で、

あなただけの未来を描いてみてください。



視機能検査

眼科診療に関わる視機能検査全般

人間の眼は、とても繊細で複雑な器官であるため、多くの検査が必要です。視力検査、屈折検査、眼鏡処方検査、コンタクトレンズ検査、視野検査などに加え、眼の奥の写真や組織の断層を撮影する画像診断検査、正確な手術を行うための術前検査など、眼科一般検査や特殊検査を担当します。私たちは診断や治療に必要な確かなデータを提供し、日々の眼科医療をサポートしています。



視能矯正

弱視や斜視などの訓練・指導

視覚発達の年齢に限りがあることをご存じですか。応答を得ることが難しい乳幼児から視機能検査を行い、早期より弱視や斜視に対する視力向上や正常両眼視機能の獲得のための視能訓練につなげます。私たちは医師と連携しながら患児一人ひとりに合わせた訓練・治療方法をプログラムします。患児はもちろん、保護者とも信頼関係を築きながら訓練を実施することが治療成功のカギとなります。



健診 | 検診

視機能スクリーニング

予防医学の観点から、早期発見・早期治療につなげるための乳幼児健診、学校健診、職場健診、生活習慣病予防健診など、各種健診において視機能スクリーニングを行い地域の医療活動に貢献しています。特に3歳児健康診査(視覚検査)での視能訓練士の役割は非常に大きく、弱視や斜視の検出率の向上に寄与しています。また、へき地や発展途上国での眼科健診・眼科医療チームの一員として活躍する視能訓練士もいます。



ロービジョンケア

低視力者への視覚リハビリテーション

眼疾患や外傷などにより視機能が低下した低視力(ロービジョン)者に対してさまざまな方法で視覚の質(Quality of Vision)の改善を支援します。日常生活、学業や仕事の継続などへの影響を聞き取り、一人ひとりに合わせた光学的補助具(拡大鏡、遮光眼鏡等)の選定や使用方法の指導を行います。身体障害者手帳の等級判定には特殊な視機能検査が必要であり、視能訓練士の検査結果をもとに医師が判定します。

視能訓練士の需要は増大しています。

「みる・みえる」を守る視能訓練士の役割は拡大し、さらなる人材育成が求められています。

有資格者数(2024年4月現在)

視能訓練士

約**20,000**人

必要な視能訓練士数*

約**45,000**人

※眼科医1人当たり3人は必要 ※眼科医の数は約15,000人

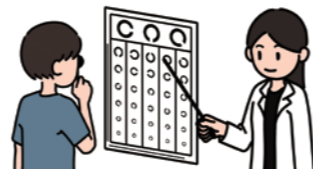
超高齢社会に伴い高まる視能訓練士のニーズ

眼科医療を支える視能訓練士は、眼科医1人あたり3人は必要とされていますが、現状では約25,000人が不足しており、人材育成が求められています。超高齢社会を迎えた我が国では、高齢化に伴う慢性的な眼疾患患者が増加しています。病院や診療所はもちろん、今後は在宅医療など、地域での活動も必要となることが考えられ、視能訓練士の需要はますます高まっています。さらに、研究分野や眼科関連企業、保健・福祉施設など、活躍の場が広がっています。



視能訓練士の仕事とは？

視能訓練士は「みる・みえる」の専門家です。眼科や健診（検診）場面において、さまざまな眼科医療機器を用いた精度の高い視機能検査や画像検査を駆使して、診断に必要な医療情報を提供します。一方で、小児の視覚発達を促進する視能矯正・訓練や中途視覚障害者の視覚リハビリテーション、中高年者のアイフレイル対策としてのビジョンケアなど、一人ひとりの「みる・みえる」をささえます。医療技術系からリハビリテーションまで、総合的・多面的に「みる・みえる」にアプローチし、医療、保健、福祉の領域で乳幼児から高齢者までのQuality of Visionを支援します。



視能訓練士の活躍

視能訓練士は1971年に国家資格化された視覚の専門職です。再生医療や先端技術の導入と進展により、眼科医療は常に新しい知識と技術がアップデートされています。近年は、スマホやタブレット端末の使用機会の増加に伴い、近視や斜視の子どもが増え、眼科一般検査や視能矯正、健診業務などのニーズが高くなっています。また、視能訓練士の役割の中で注目度が高まっているのがロービジョンケアです。超高齢社会の到来により、加齢関連の眼疾患も増加しています。回復が望めない緑内障の末期や糖尿病網膜症の方にルーペや遮光眼鏡などの補助具を選定し、残っている視機能の有効活用を支援する視覚リハビリテーションへの期待が年々高まっています。

視能訓練士の独自性

「視覚」は感覚器である「眼」だけでなく、脳全体での視覚情報処理で成り立っています。視能訓練士は、「脳がどのように視覚世界を認知し、眼を含めた運動系をどのようにコントロールしているのか」という脳機能学を基盤とした専門技能を持っています。近年では、最先端のデジタル画像検査やAIを導入した解析技術が進展し、視能訓練士はこれらを駆使して、より詳細な視機能評価を行います。一方で、弱視や斜視などの視覚発達を促す視能矯正・訓練や、視覚障害児・者に対するロービジョンケアなど、一人ひとりのライフステージに寄り添ったリハビリテーション・ハビリテーションを提供します。このように、医療技術系の仕事からリハビリテーションまで、幅広い仕事内容であることが視能訓練士のユニークな魅力です。

視能訓練士の未来像

眼科医療はますます高度化・多様化していき、手術室業務など活躍の場は広がっていきます。また、発達障害や高次脳機能障害の視機能評価や視覚支援など、視能訓練士に求められる専門技能は拡がり深化が進んでいきます。さらに、超高齢社会において医療・介護・福祉との連携、地域包括ケアシステムの推進は不可欠となっています。対象者のQuality of Lifeの維持・向上のためには、多職種がチームで連携・協働し、それぞれの専門スキルを発揮することが必要不可欠です。私たち視能訓練士も、多職種連携の中で視覚の専門家としての役割を果たすことが求められています。

必要な資質

視能訓練士は人と接することが多い職業です。眼は繊細な器官であるため、眼疾患の患者さんも不安を抱えている方が多く、患者さんとの信頼関係を築くために高いコミュニケーション能力が求められます。また、コミュニケーション能力だけでなく、回復まで長い時間を要することもあるので、さまざまなデータを正確に扱える知識とスキルを持ち合わせることも重要な要素となります。

視能訓練士に向いてる人

人と接することが好きな人



検査や訓練を行うにあたり、患者さんとの信頼関係は必要不可欠です。相手の言うことにじっくり耳を傾けられる聞き上手な人、人と接することが好きな人は長所が生かせる仕事です。

子どもと接するのが好きな人



乳幼児や小学生の患者さんも多く、視能訓練士は、子どもが飽きない工夫をしながら検査や訓練を実施します。子どもが好きな人や、子どもと関わる仕事に就きたい人に向いています。

機械を扱うのが好きな人



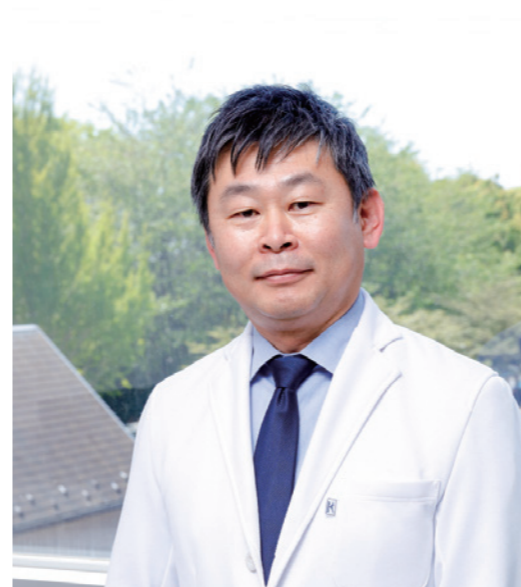
視能訓練士は、さまざまな機器を操ることで検査や訓練を行うため、機械の扱いが好きな人や得意な人が向いています。また、スキルアップのために努力できる向上心も大切です。

資格を生かし、人を支える仕事がしたい人



視能訓練士は、子どもから高齢者まで、幅広い年代の患者さんの眼の健康を守る、たいへんやりがいのある仕事です。働きやすい環境であり、国家資格として安定性も抜群です。

視能訓練士は「みる・みえる」の専門家です。社会のニーズと期待の高まりに対応できる視能訓練士が求められています。



大田原キャンパス
視機能療法学科長／視能訓練士
内川 義和教授

川崎医療福祉大学を卒業し、視能訓練士の資格を取得。同大学院医療技術学研究所で感覚矯正学を専攻。その後、九州保健福祉大学大学院で保健科学を専攻。保健科学博士。日本視能訓練士協会理事を歴任し、現在、全国視能訓練士学校協会常務理事。

視能訓練士は「みる・みえる」を支援する専門職です。先端技術を駆使したさまざまな眼科検査や健診（検診）を通して、大切な眼の健康を守ります。また、視覚発達の問題や中途視覚障害など、「みる・みえる」に問題を抱えるすべての人々を対象に、視能矯正・訓練やリハビリテーション指導（ロービジョンケア）を行います。私たちが生きる社会は少子高齢社会であり、医療や福祉の制度も大きく変化しています。今後は、医療分野にとどまらず、視覚の観点から福祉分野や地域生活を支えるために、視能訓練士の果たすべき役割はますます大きくなります。私たち視能訓練士が多職種と連携しながら「チーム医療・チームケア」の一員として貢献するためには、患者様やその家族はもちろん、他の医療従事者を含め、自身に関わるすべての人に対して、思いやりをもって接することが重要であると考えています。視能訓練士としての専門知識や技術を修得することは大切ですが、相手の立場になって考えることができるチカラを身につけましょう。本学の豊富な実践教育を通じて、乳幼児から高齢者まで、一人ひとりのQuality of Visionの維持・向上を支援する視能訓練士と一緒にめざしましょう。

個々の学修到達度に合わせた万全の国家試験サポート

開学以来高い 国家試験合格率达到

合格率 **100%**

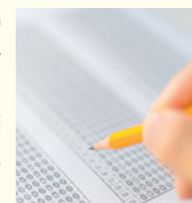
国家試験対策

専門カリキュラムのなかで、無理なく必要な知識が身につくよう工夫されています。これに加え年4回の集中対策講義と国家試験対策補講を実施します。



オリジナル模擬試験

専任教員が国家試験の出題傾向を分析しオリジナルの模擬試験を作成します。年間を通じてバランスよく模擬試験を実施し、学修到達度を引き上げます。



到達度ごとの学修指導

模擬試験の結果をもとに苦手分野の可視化と学修方法のアドバイスなど、学修状況や学修成果の推移に合わせた最適な個別指導を行います。

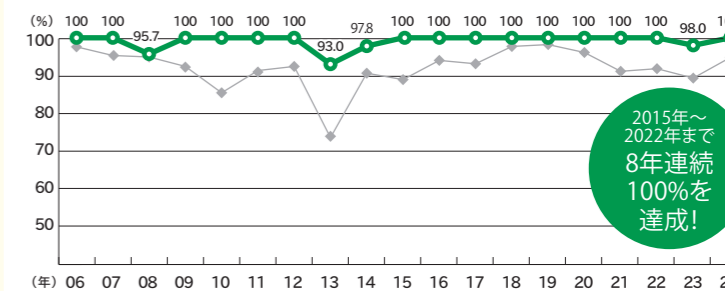


開学からの平均国家試験合格率は99.2%と全国トップクラスの実績

国家試験対策では、模擬試験や授業時間外での補講を通じて、学修到達度に合わせた個別指導を行い、学生と教員が一体となって国家試験合格に向けて取り組んでいます。その結果、開学からの平均国家試験合格率は99.2%と全国トップクラスの実績を誇ります。

合格率 100% 全国合格率 95.2%	2023年度 合格率 全国1位 合格者 52名
-----------------------------------	--

視能訓練士 国家試験合格率の推移



多彩な実習科目の設定、豊富な実践実習の機会を設けることで、思考力と実践力を兼ね備えた将来を担う視能訓練士教育に取り組んでいます。

多領域で活躍できる
視覚のエキスパートを
育成したい

准教授 視能訓練士 岡野 真弓

視能訓練士には、「視覚」に問題を抱える方の気持ちや考えを受容し、共感できる豊かな感性と専門的視点から問題の抽出、整理、解決ができる科学的思考力が求められます。そこで学生には、専門知識や技術の習得はもちろんのこと、自分を含め、人を尊重する姿勢と考える習慣を身につけてほしいと考えています。本学科の教育プログラムには、多職種連携実習、病院やリハビリテーションセンター、福祉施設、保育施設での実習が組み込まれています。これらの実習を通して、年齢や障がいの状況、価値観等の異なる多様な人々を理解し、共感する姿勢、専門知識や技術を駆使して問題を分析し、解決方法を考え、行動できる実践的能力を養っていきます。本学科の特長ある教育プログラムを通して、医療、保健、リハビリテーション、福祉など多領域で「視覚」のエキスパートとして活躍できる視能訓練士を育てていきます。



実習生の理解度を把握し、
一人ひとりに合わせた
指導を行います

国際医療福祉大学病院 視能訓練士 高津戸 佑騎さん

国際医療福祉大学病院は、関連病院という強みを生かして、学生にとって「身近な」実践教育の場として多くの実習生を受け入れています。眼科での実習では、実際の患者様に対する問診や視機能検査の技術、症状や結果を考察する力など、講義や学内実習では学ぶことができない実践的な専門技能を身につけてもらいたいと考えています。断片的な知識の一つひとつを繋げ、患者様の全体像を捉えることができる視能訓練士になれるよう、「点」ではなく「線」で考えることができる指導を心がけています。

実践力を身につける多彩な実習科目



保健福祉実習

社会福祉施設や盲導犬協会などでの実習を通して、多職種連携のなかでの視能訓練士の役割について学びます。視覚に障害を持つ方々に対する幅広い支援についても体験を通して学びます。



視覚リハビリテーション演習

視覚リハビリテーションの基本的知識を踏まえ、視覚障害者の外出時の移動に必要な視覚情報の提供・支援に関する知識と技術を学び、同行支援従業者（一般過程）の資格を取得します。



臨地実習Ⅰ (園児視機能評価実習)

保育園や幼稚園での検査体験を通して、幼児の視機能異常を評価するために必要なコミュニケーション技術や検査手技を身につけます。検査の立案から結果の評価まで学生主体で行われます。

視機能療法学科の4年間の学び

1年次

専門的教育の土台をしっかりと固める

自然科学や医療・福祉に関する基礎的な知識を学び、4年間の統合的学習への基礎固めを行います。また、国際医療福祉大学病院での見学実習や、豚眼を用いた解剖実習を行うことで学習意欲を高めます。

1年次の主なカリキュラム

- 総合教育科目**
 - 英語講読
 - 英語CALL
 - 生物学
 - 数学
 - 物理学
- 専門基礎科目**
 - 解剖学
 - 生理学
 - 社会福祉学
 - 視能学概論
 - 生理光学Ⅰ
- 専門科目**
 - 視能矯正学Ⅰ

2年次

視機能の多様なメカニズムを理解する

医学の各分野についての基礎知識とともに、視覚機能とその評価に関わる専門知識について学びます。実習では、修得した知識を生かし視能訓練士に必要な専門技能を学内実習で修得します。

2年次の主なカリキュラム

- 専門基礎科目**
 - 内科学
 - リハビリテーション医学
 - 視器解剖病態学
 - 視覚運動生理学
- 専門科目**
 - 生理光学Ⅱ・Ⅲ
 - 視能矯正学Ⅱ・Ⅲ
 - 生理光学実習
 - 視能矯正学実習
 - 視能障害学Ⅰ
 - 視能訓練学Ⅰ

3年次

専門的知識・技術をより深く掘り下げる

眼科疾患の病態や検査手技、鑑別および治療法について深く学びます。実習では、検査機器の原理や操作法を修得し、講義の内容と結び付けることで理解を深めます。また、見学実習や臨床実習を行い、4年次に備えます。

3年次の主なカリキュラム

- 専門基礎科目**
 - 視覚臨床生理学
 - 高次脳機能障害
 - 関連職種連携ワーク
- 専門科目**
 - 視能訓練学Ⅱ・Ⅲ
 - 神経眼科学
 - 視能障害学Ⅱ
 - 視能検査学Ⅰ・Ⅱ
 - 視能学研究法Ⅰ・Ⅱ
 - 視能検査学実習Ⅰ・Ⅱ
 - 臨床屈折矯正学演習
 - 視能学総合演習Ⅰ
 - 保健福祉実習
 - 臨地実習Ⅰ
 - 視覚リハビリテーション／演習

4年次

実践学習を経験して視能訓練士に近づく

臨地実習では、全国の大学病院、総合病院、診療所で、実践能力や臨床判断能力、チーム医療の一員としての役割と責務を身につけます。卒業研究では、データ収集から統計処理までの研究過程を学び、卒業研究発表会で報告します。

4年次の主なカリキュラム

- 専門基礎科目**
 - 関連職種連携実習(選択)
- 専門科目**
 - 視能学総合演習Ⅱ
 - 臨地実習Ⅱ・Ⅲ
 - 視能学評価実習
 - 卒業研究

同じ目標を持つ仲間と切磋琢磨しながら、視能訓練士をめざす学生たち。
授業や実習で得た経験や将来像について語っていただきました。
※登場する学生の学年は2023年度時点のものです。

患者様に寄り添える
視能訓練士をめざします



大学独自の関連職種連携教育で「チーム医療・チームケア」を学べる点に惹かれ、入学しました。他職種との関わりを学ぶことで、視能訓練士の在り方を多角的に理解していきたいです。私の好きな講義は、「視能矯正学1」です。眼についての基本や、馴染みのある検査について学ぶことが楽しいです。大学の講義は、高校とは異なり、進みが早く、情報量も多いため、黒板をうつすのではなく、自分で考えながらメモをとる必要があります。主体的に授業に参加して知識を身につけ、患者さんに寄り添ってサポートできる視能訓練士をめざしたいです。

今泉 莉緒さん(1年) 栃木県 作新学院高等学校出身



多職種連携を
実践的に学びました



「関連職種連携ワーク」では他学科の学生と協力し、1つの症例について検討していきます。自身の専門分野について、他者にわかりやすく説明することの重要性を学びました。また、国際医療福祉大学病院と幼稚園での実習を経験し、小児から高齢の方まで幅広く対応するための実践力を身につけました。実習では、眼科医の診察や視能訓練士の検査の見学に加え、実際の検査も行います。現場で活躍する視能訓練士と学生である自分の違いは何か、患者さんとの接し方など、臨地実習でしか得られない学びを修得することを心がけて取り組みました。

小林 彩夏さん(3年) 新潟県 万代高等学校出身



専門科目が増え、
楽しく学んでいます



医療について幅広く学んでいた1年次とは違い、2年次は専門科目が増え、本格的に「視覚」について学んでいます。学内実習が始まり、座学で学んだことを生かしながら、検査手技や結果の評価など、専門的技術の修得に励んでいます。1年次に比べて勉強の内容は難しくなりましたが、日々新たな学びがあり知識が深まることに楽しさを感じています。さらに、視機能療法学科は1学年50人程度と少人数制で、友人はもちろん先輩や先生にも気軽に質問することができるため、不安なく日々の勉強に取り組むことができます。

佐藤 優太さん(2年) 福島県 東日本国際大学附属昌平高等学校出身

知識や技術を活かし
地域医療に貢献したい



4年次は、6週間の臨地実習を2回行います。臨床現場では、症状の聞き取り、検査説明、結果の評価など、多くのことを短時間で行う必要があります。実習を経て、疾患や対処法に関する知識をただ覚えるだけではなく、いつでも引き出せるレベルまで深めて定着させることの大切さを実感しました。卒業研究は「歩行中の視力に影響を及ぼす要因の検討」というテーマで取り組んでおり、常に結果の整合性を考える能力が身につきました。将来は、症状を多様な視点で捉え、適切な対処ができる視能訓練士として地域医療に携わるのが目標です。

米田 愛さん(4年) 宮城県 東北高等学校出身





専門知識をいかして
社会貢献につながる
研究に取り組んでいきたい



慶應義塾大学病院 勤務

重野 雄太さん (2005年度卒業/第一期生)
茨城県立下館第二高等学校 出身

現在は、大学病院の外来で眼科検査業務を行っています。眼科検査の種類は50種類以上あり、使用する検査機器も日々進歩を遂げています。全ての検査で高い質を保てるように、技術を磨くだけでなく、学会に参加するなど、知識のアップデートにも努めています。また、大学病院は、一日の患者様の数が多く、待ち時間へのケアや患者様の状態をしっかりと把握するためのコミュニケーションが大切だと感じています。在学中に接遇に対しても学ぶことができたので、今とても役に立っています。今後は、専門性や自身のスキルを高めることはもちろん、研究発表なども行い、臨床・教育・研究の三拍子そろった、社会に貢献できる視能訓練士になれるよう研鑽していきたくと思います。

WORKS OF CO

手術に関わる視能訓練士



眼屈折の正確な評価

白内障の術前検査として、角膜や水晶体の状態、乱視などの生体計測を行います。医師の診察内容や手術プランを確認しながら、必要なデータを取得します。



眼軸長の測定

白内障手術で使用する眼内レンズの度数を決定するため、眼の長さ(眼軸長)を測定します。術後の視力に直結する検査のため慎重かつ正確に行うことが大切です。



POINT



後輩の指導をはじめ、
臨地実習病院として
実習生の受け入れを行うなど、
視能訓練士の教育にも
力を入れています。



多くの卒業生が就職

毎年、国際医療福祉大学から多くの後輩が入職し、眼科医療に貢献、活躍しています。



まきた眼科 石橋院 勤務

高橋 由香さん (2005年度卒業/第一期生)
栃木県立宇都宮中央女子高等学校 出身

現在は、小児から高齢の方まで幅広い年齢層の患者様を対象に、弱視や斜視、白内障手術に関わる検査などをメインに行っています。他にも地域の小学校で学校検診などにも参加し、地域と関わりながら働いています。当院では、検査だけでなく受付や問診の対応も視能訓練士が行うので、患者様が心地よく検査できるよう事前に問診内容を把握することを心掛けています。また、患者様の眼位だけでなく、顔色や歩行に不自然な点はないかといったことも注意して見えています。このような症状は、脳疾患に起因する可能性があるため早期の対応が必要となり、視能訓練士、看護師、医師が密に連携を取ることが重要になってきます。白内障手術後に患者様の視力が回復して喜ばれている姿や、自分の検査がその後の診察結果につながった時にやりがいを実感することができます。検査の判断を任せていただく機会も多く、責任を感じながら仕事に取り組んでいます。今後は、自身の経験を後輩指導に生かしながら患者様に寄り添った視能訓練士として成長していきたいと思っています。



ひとりでも多くの方の
笑顔が見たい。

WORKS OF CO

診療所の視能訓練士の1日

午後の予約の弱視のお子様なんです...

できるだけ声掛けをして、安心させましょう。

1

8:30
スタッフと当日の流れを
ミーティング

開院前に、当日の予約状況をスタッフと打ち合わせ。一日の流れをイメージしてから業務に移ります。



9:00
来院された患者様への
問診はきめ細やかに

問診では、患者様の様子に変化がないか気に掛けながら対応。全ての患者様が気持ちよく診察・検査ができるよう丁寧にお話を伺います。

POINT
✓

患者様との
何気ない会話からも
変わった様子がないか
注意深く対応することが
大切です



今日の体調はいかがですか？

POINT
✓

小児の視力検査では、
子どもでも分かりやすい
『絵視力シート』を使って
検査を行います



10:45
医師と連携して各患者様の検査へ

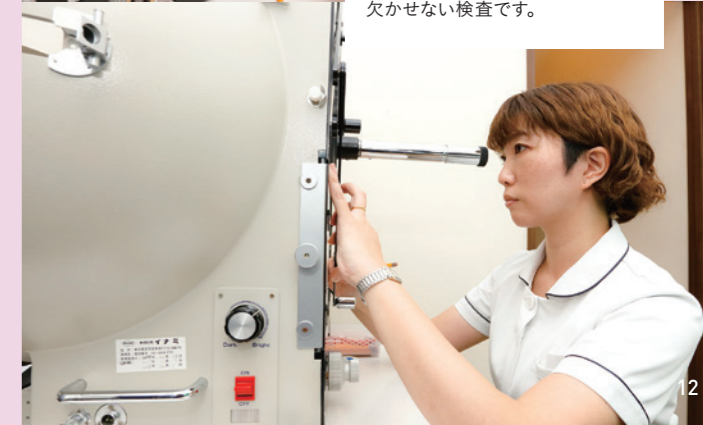
視力検査や眼底検査などの検査を担当。午前中から多くの患者様が来院されるので、丁寧かつ、正確で迅速な検査を心掛けています。



15:30
患者様の
症状に合わせて
さまざまな検査を実施



視野検査では、視野異常の症状などを検査します。緑内障の初期状態や脳疾患に関わる症状などを把握することができ、眼の健康維持に欠かせない検査です。



眼科医から見た「視能訓練士」とは？

PROFILE

眼科専門医 新井田 孝裕 医師

国際医療福祉大学 保健医療学部 教授
 国際医療福祉大学 副学長・保健医療学部長 兼任
 日本弱視斜視学会 理事
 日本神経眼科学会 評議員
 全国視能訓練士学校協会 会長
 第10回 国際医療福祉大学学術大会 大会長
 第78回 日本弱視斜視学会総会 会長



25年に渡り視能訓練士の養成に携わる日本の視能訓練士教育の第一人者。国際医療福祉大学病院では弱視・斜視、神経眼科およびボトックス治療を専門分野としている。大学では学部生に講義を行い、外来では臨床実習生の指導を行う。

眼科医療に欠かせない
パートナーです



眼科医にとって視能訓練士とは

眼科医と視能訓練士は眼科医療で欠かすことができない両輪です。白内障手術では視能訓練士による術前検査が術後の見え方を大きく左右し、弱視斜視分野では視能訓練士の技量や洞察力が治療成功のカギを握っています。私の外来では診察後に斜視の手術症例や弱視の治療症例の検討会が開かれ、眼科医と視能訓練士の立場から活発なディスカッションが行われています。少子高齢化に伴い眼科医療の需要はますます増えることが予想され、眼科医は高い専門性を持った優秀な視能訓練士を求めています。

眼科医ならではの視能訓練士教育

国際医療福祉大学視機能療法学科では常勤2名非常勤4名の現役の眼科専門医が視能訓練士教育にあたっています。それぞれの眼科医は角膜、白内障、屈折矯正、緑内障、網膜、神経眼科、小児眼科・弱視斜視等の専門分野を有しており、臨床現場で眼科医が求める高度な知識を持った視能訓練士を養成できるカリキュラムを設定しています。

患者様から見た「視能訓練士」とは？

検査中の緊張をほぐし
安心させてくれます！



Q.お子さんの検査時に気を付けていることはありますか？

視能訓練士: お子さんの検査の場合は集中力が切れてしまうと検査結果の信頼性が下がってしまうので、集中力を持続させる声掛けを意識しています。

患児: 検査中に会話をしてもらおうと緊張がほぐれて楽しく検査ができます。小さい頃、「上手にできているよ!」と声を掛けてもらい、安心したことを覚えています。

母親: それは私も覚えています。「検査が上手にできて褒められた」と終わった後にニコニコと話してくれました。安心した雰囲気のおかげで素早く検査を行ってほしいです。

Q.視能訓練士はどんな存在ですか？

患児: 先生(眼科医)の前だと緊張して困っていることをうまく話せない時でも、視能訓練士さんにはなんでも話せます。

母親: 診察室で先生は視能訓練士さんの検査結果をもとにお話し、視機能検査のスペシャリストとして医師から頼りにされているように思います。

視能訓練士: 私たち視能訓練士の役割は、患者様の伝えたいことを検査結果として医師に伝えることです。この責務を果たすべくこれからも患者様と向き合い、検査技術を磨いていきたいと思っています。

国際医療福祉大学病院 視能訓練士
漆原 美希さん



適性に合った満足できる就職先へ

増加する求人件数と充実したサポート体制

本学卒業生は、優秀な人材として高い評価を受けており、全国の大学病院はもちろん、数多くの病院・診療所から求人が来ています。さらに、視能訓練士の需要の高まりとともに、求人数も年々増加しています。教員陣が有する幅広いネットワークと卒業生の情報網を駆使して、本人の希望や性格、特性に合致した就職先へと導きます。さらに、キャリア支援センターと連携することで、面接指導や関連書類の添削などの就職活動に必要な多岐にわたる支援を行います。視能訓練士の給与は他のリハビリ職と同等で、十分に目指す価値のある職種です。

学生の未来を手厚くサポート キャリア支援センター

キャリアコンサルタントが学生の強み「乗り越える力」を引き出し、在学中はもちろん卒業後も継続してさまざまなキャリア支援を行います。



視機能療法学科 2023年度実績

求人件数 **253** 件

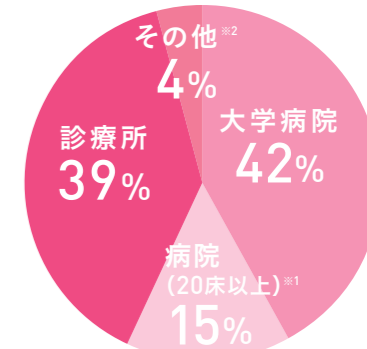
卒業した先輩たちの勤務先

就職率 学科創設以来100%

就職実績 (2023~2024年3月卒業生実績)

●本学グループ施設 (栃木県)国際医療福祉大学病院(千葉県)国際医療福祉大学成田病院(東京都)国際医療福祉大学・高邦会グループ(静岡県)国際医療福祉大学熱海病院
 ●グループ施設 【医療機関】あかいし台眼科/東北大学病院/よねざわ眼科/こじま眼科/近藤眼科/福島県立医科大学附属病院/菊池眼科/筑波大学附属病院/山王台病院/小沢眼科内科病院/かとう眼科/細川内科・外科・眼科/原眼科病院/インターパーク小児科眼科/まきた眼科石橋院/済生会宇都宮病院/前橋中央眼科/群馬大学医学部附属病院/医療法人社団フォルデイズ/学校法人埼玉医科大学/順天堂大学医学部附属浦安病院/千葉大学医学部附属病院/新八街総合病院/いちべ眼科/かじわらアイ・ケア・クリニック/井上眼科病院/西東京中央総合病院/慶應義塾大学病院/日本大学医学部附属板橋病院/東京慈恵会医科大学附属病院/杏林大学医学部附属病院/東海大学医学部附属病院/北里大学病院/塚原眼科病院/上岡眼科病院/金沢大学附属病院/信州大学医学部附属病院/矢田眼科病院/のり眼科/近畿大学病院/鳥取大学医学部附属病院/志熊眼科/琉球大学病院 ほか

就職先 (2024年3月卒業生実績)



※1 総合病院と眼科病院の合計
 ※2 教育機関および大学院進学